

6 単元指導計画 10 ひきざん(2)

小単元	時間	ねらい	学習活動	評価規準				きめ細かな指導	
				関心意欲態度	数学的な考え方	表現・処理	知識・理解	評価方法	個に対する指導の手だて
ひき算	1	13 - 9の計算で、13 - 3 - 6と10 - 9 + 3の考え方の違いが分かり、10からまとめてひくやりかた(減加法)で計算することができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">うさぎを13びきかっています。</div> 2わ外に出た時の残りを数をみつけよう 9ひき外に出た時の残りの数をみつけよう <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">けいさんのしかたをかんがえよう</div> 個人追求 全体交流 ・減加法のやりかた ・減々法のやりかた ・かぞえひきのやりかた <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">11 - 8をまとめのやりかたでとく</div>	ブロックを使って減法の計算方法を考えることができる。	13を10と3にわけて考え、10から9をとったり、3から9をとろうと考える。	ブロックを使って自分の計算の仕方を話すことができる。	減法の計算には、減加法と減減法の2つがあることがわかる。	発言 つぶやき ノート 評価問題	9をどこから引くか考えさせる。 13を10と3にわけて、10のかたまりから9をひき、残りの1と3を足して4になることをブロックで確かめる。 9を一度にひけないかと問いかけ、10のかたまりから9をひくことに気付かせる。
	2	10いくつかから9や8や7をひく計算の練習を通して、まず10からまとめてひき、のこりをたす(減加法)の計算に習熟する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">11 - 8のけいさんをしよう</div> 11 - 8のけいさんを、減加法でとく <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">10からひくやりかたでこたえをみつけよう</div> ~さんしきのやりかたで計算し、ノートに式と答えを書く ブロックで答え合わせする <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">11 - 2をまとめのやりかたでとく</div>	ブロックを使って、計算をしようとする。	被減数を十の位と一の位にわけ、まず十の位から減数をひこうと考える。	ブロックを使って減加法の仕方を話すことができる。	減法を減加法で計算することができる。	発言 つぶやき ノート 評価問題	ブロック操作を通して、計算の過程(減加法)を説明できるようにさせる。
	3	12 - 3の計算方法をブロックを操作して考える探求的な算数的活動を通して、(10 - 3) + 2と(12 - 2)1の考え方の違いが分かり、12 - 3の計算を12から2をひいて、のこりの10からさらに1をひくやりかた(減減法)で計算することができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">にんじんが12ほんあります。3ほんたべました、なんほんのこるでしょう。</div> 2つの計算の仕方を思い出そう <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">12 - 3のけいさんのしかたをおはなししよう</div> 個人追求 全体交流 一のくらいがちかいかずのときは、さんしき(減々法)のほうが計算しやすいことがわかる	ブロックを使って計算しようとする。	被減数を十の位と一の位に分けて考え、一の位から引こうと考える。	ブロックを使って減減法の仕方をお話しすることができ、式に結びつけることができる。	減法を減減法で計算することができる。	発言 つぶやき ノート 評価問題	減加法、減減法のどちらをもとめ、減減法のやり方もできるようにさせる。 減加法も減減法も被減数を10といくつかに分けて考えていることを理解させる。

単元指導計画 10 ひきざん(2)

小単元	時間	ねらい	学習活動	評価				きめ細かな指導	
				関心意欲態度	数学的な考え方	表現・処理	知識・理解	評価方法	個に対する指導の手だて
ひき算	4	くりさがりの引き算の計算問題に対して、減減法か加減法のどちらかの方法がよいのか判断し、計算することができる。	<p>さんは15まい、さんは8まいのカードをもっています。どちらがなんまいおおいでしょう。</p> <p>2つのやりかたで答えをたしかめる 教p.75の問題を読む</p> <p>どのやりかたがよいかわけをはっきりとさせてこたえをみつけよう</p> <p>個人追求 全体交流</p> <p>けいさんのしかたをくふうすると、けいさんがしやすくなるのがわかる</p>	ブロックをつかってやりかたを考えることができる。	被減数と減数の差に応じて、計算の方法を変えて考える。	ブロックを使って、自分のやりかたをお話しすることができる。	被減数と減数の差により計算方法を工夫するとよくなる。	発言 つぶやき ノート 評価問題	減加法、減減法のどちらのやり方も正しいことを理解させる。 数の大小を考えて、立式することを考えさせる。
	5	「のこりはいくつ」の言葉を用いて、13-6の式になるおはなしをつくることができる。	<p>えをみておはなしをかんがえよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ひきざんのおはなしをつくることのみとおしをもつ <p>13-6になるおはなしをつくらう</p> <p>個人追求 全体交流</p> <p>つくった問題を発表し、話し合いで正しく修正する。 つくった問題の答えをブロックを使って確かめる。</p> <p>15-9になるおはなしをつくらう</p>	おはなし問題をつくることができる。	残りの数を求めるときに、引き算を使って考える。	お話しの際最後に「のこりはいくつでしょう」などの言葉をつけることができる。	つくったお話しをブロックを使って確かめられる。	発言 つぶやき ノート 評価問題	減少及び比較の両方の場面の作問ができるようにする。
	6	ひき算カードを使って、素早く計算する練習をすることができる	<p>教師が出すカードの答えをいう</p> <p>カードをつかって、ゲームしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアでお互いにカードを出し合い答えをいう <p>教師の出すカードを見て、こたえをいうことができる。</p>	ペアでひきざんカードを使って、何度も何度も計算の練習をしたり、ゲームをすることができる。	ひきざんカードの問題を見て、やりやすい計算方法を選んで考える。	すばやく正確に計算をすることができる。	減々法や減加法を選ぶ工夫をすることよくなる	発言 つぶやき 評価問題	10いくつから1位数をひいて差が1位数になる36種類の減法について、1つ1つ確かにできるように個、ペアや教師が出し合い、定着させていく。

単元指導計画 10 ひきざん(2)

小単元	時間	ねらい	学習活動	評価				きめ細かな指導	
				関心意欲態度	数学的な考え方	表現・処理	知識・理解	評価方法	個に対する指導の手だて
ひき算カード	7	計算カードを使って「おおきさくらべ」、「かあどとり」などのゲームをしながら、計算をすばやくできるようになる	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさ比べの方法を知る。 はやくけいさんできるようになる ・ペアに分かれて、大きさ比べをすることができる ・カードとりの仕方を知る。 ・グループに分かれてカードとりのゲームをすることができる。 教師の出すカードを見て、こたえをいうことができる 	<p>関心意欲態度</p> <p>ペアでひきざんカードを使って、何度も何度も計算の練習をしたり、ゲームをしたりすることができ</p>	<p>数学的な考え方</p> <p>ひきざんカードの問題を見て、やりやすい計算方法を選んで考える。</p>	<p>表現・処理</p> <p>すばやく正確に計算をすることができる。</p>	<p>知識・理解</p> <p>減々法や減加法を選ぶ工夫をすることがわかる</p>	<p>評価方法</p> <p>発言 つぶやき 評価問題</p>	<p>個に対する指導の手だて</p> <p>被減数を同じ数にしたり、減数を同じ数にしてカードの種類を限定し、繰り返し練習する。</p>
	8	並べられたカードから答えが同じになるか加カードを見つけ、そのカードの並び方に着目し、規則性がわかる。	<ul style="list-style-type: none"> こたえが5になるカードをみつけよ ・カードをならべてみる あつめたカードにどんなきまりがある 個人追求 見つけたきまりを発表する。 ・前の数が1増えると、後ろの数も1増える。 ・後ろの数が1減ると、後ろの数も1減る。 みつけたきまりをつかっ、こたえがおなじになるカードをみつけよう 	<p>関心意欲態度</p> <p>きまりをみつけて、発表することができる。</p>	<p>数学的な考え方</p> <p>答えが同じになる式は、被減数が1増える(減ると、減数も1増えている)と考える。</p>	<p>表現・処理</p> <p>答えが同じになるカードを並べることができる。</p>	<p>知識・理解</p> <p>答えが異なるカードのみつけた分かる。</p>	<p>評価方法</p> <p>発言 つぶやき 評価問題</p>	<p>個に対する指導の手だて</p> <p>答えが同じになるカードを探し、それらがいくつもあることに気づかせる。配列の規則性に気づかせる。</p>
れんしゅう	9	練習問題をして、単元の復習をする	<ul style="list-style-type: none"> きょうかしよ72ページのれんしゅうをしよう ひきざんをする ・暗算で答えをみつけ、答えは教科書に書き込む 文章問題 ・答えを見つける証拠の式やブロックをつかうことができる。 ・計算の答えを問題の答えを区別する。 	<p>関心意欲態度</p> <p>計算問題で、ブロックに頼らずに答えを見つけることができる。</p>	<p>数学的な考え方</p> <p>減法の計算方法を選んで考える。</p>	<p>表現・処理</p> <p>答えを求めた証拠をはっきりとさせることができる。</p>	<p>知識・理解</p> <p>減法の計算方法がわかる。</p>	<p>評価方法</p> <p>ノート 発言</p>	<p>個に対する指導の手だて</p> <p>減少や比較のどちらの場面なのか理解させる。ブロックはできる限り使わず、式から考えさせる。</p>

